

令和6年度群馬県高等学校空手道新人大会要項 (兼 第33回関東高等学校空手道選抜大会県予選会)

- 1 主催 群馬県高等学校体育連盟、群馬県教育委員会
- 2 後援 群馬県空手道連盟
- 3 主管 群馬県高等学校体育連盟空手道専門部
- 4 期日及び会場 令和6年10月26日(土)、27日(日)
両日とも受付 8:15~8:45 競技開始 9:00 10月22日(土)計量 8:15~8:45
第1日(26日)9:00~ ALSOKぐんまサブアリーナ
第2日(27日)9:00~ ALSOKぐんまサブアリーナ
- 5 競技種目 団体形競技・団体組手競技(5人制)・団体組手競技(3人制)・個人形競技・個人組手競技
(各男女 計10種目)
※男子個人組手(-55K、-61K、-68K、-76K、+76K)
※女子個人組手(-48K、-53K、-59K、-66K、+66K)
- 6 競技日程 別紙の通り
- 7 競技規定(公財) 全日本空手道連盟競技規定及び全国高等学校体育連盟空手道専門部競技規定に準ずる。
- 8 新型コロナウイルス対策
本連盟作成の「新型コロナウイルス感染症に係る群馬県高体連主催大会等実施ガイドライン」に沿った対策を講じるとともに、細部については、各は競技団体作成のガイドラインや群馬県作成の「新型コロナウイルス感染症に係る県主催イベント等開催ガイドライン」に準じた万全の対策を講じること。
- 9 競技方法(1) 組手団体・個人、男女共にトーナメント方式、形競技は得点方式で行う。
(2) 形競技の第1ラウンドは(公財)全日本空手道連盟第1・2指定形とする。第2ラウンド以降は(公財)全日本空手道連盟得意形とし、1度使った形は使えない。
※上位ラウンド進出に関わる時とメダルマッチの時に同点が出た場合、再演武を行う。再演武で使用する形は当該ラウンドで使った形以外の形とする。以前に本戦で使った形でも良い。再演武で使った形で本戦に使っていない形はそれ以降も使える。
(3) 団体形の分解は行わない。
(4) 組手競技においてはベスト8までは試合時間1分30秒で、6ポイント差とする。準決勝からは試合時間2分で、8ポイント差とする。
(5) 団体競技におけるメンバー及びオーダーは、登録された範囲内で交代できる。
- 10 審判員 (公財)全日本空手道連盟公認審判員及び群馬県空手道連盟公認審判員
- 11 参加資格(1) 選手は、学校教育法第1条に規定する高等学校(中等教育学校後期課程を含む)に在籍している生徒であること。
(2) 選手は、本県高等学校体育連盟に加盟している生徒で、本連盟空手道専門部に登録を完了し、かつ、群馬県空手道連盟に有効に登録を完了していること。
(3) 年齢は、平成18(2006)年4月2日以降に生まれた者とする。ただし、出場は、同一競技3回までとし、同一学年での出場は、1回限りとする。
(4) チーム編成において、全日制・定時制・通信制課程の生徒による混成は認めない。
(5) 転校後6か月未満の者の参加は認めない。ただし、一家転住の場合は、特例として参加を認める。
(6) 参加選手は、参加に当たっては当該校長の承認を必要とする。

(7) 参加選手は、あらかじめ健康診断を受け、当該校長の承認を必要とする。

1 2 出場制限 (1) 団体競技は、形・組手とも1校男女各1チームとする。チームは、監督1名・コーチ1名とする。監督は当該校の教員とする。なお、団体競技の競技者数は、5人制組手は8名(正選手5名・補欠3名)、3人制組手は4名(正選手3名・補欠1名)とする。形は6名(正選手3名・補欠3名)とする。ただし、組手は規定の過半数の選手(5人制は3名、3人制は2名)で成立する。また、形については規定の数を満たさなければ成立しない。

(2) 個人競技は、次の通りとする。

A: 組手は、各校男女ともに正選手は各階級の合計4名以内。(補欠3名、ただし、各階級の正選手の数を超えないこと)

B: 形は、男女ともに正選手2名・補欠1名までとする。

1・2年生実戦研修会ベスト8の選手(シード選手)には別に出場枠を与える。ただし、最大出場数は各校4名までとする。また、シード選手と補欠との交替はできない。

(3) 全国選抜大会推薦出場者が出た場合は、次の通りとする。

①参加申込をした場合は、スーパーシードの権利を与える。

②参加申込をしない場合は、次年度の高校総体において、新人大会の入賞者より上位として扱い、優先シードの権利を与える。また、新人大会申込み後、国体等の結果を受けて新たに推薦出場が決定した場合、上記の権利を与え、差し替えを認めて再抽選を行う。

1 3 組み合わせ 10月18日(金)の13時より、伊勢崎商業高校において、常任委員会の責任抽選により決定する。

1 4 表彰 団体・個人とも、各種目3位まで表彰する。男女団体競技優勝校には、中里杯(持ち回り)をそれぞれ授与する。

1 5 関東選抜大会出場権 男女団体組手及び男女団体形の上位2チーム、男女個人組手各階級の上位1名及び男女個人形の上位2名は、令和7年1月18日(土)・19日(日)に栃木県で行われる第33回関東高等学校空手道選抜大会の出場権を得る。

1 6 申込方法 (1) 申込締め切り 令和6年10月9日(水) 必着

(2) 申込方法 参加校すべてが次の①と②を下記へ申し込むこと。

①エクセルデータ ②PDF化したエクセルデータ

karate_hs@yahoo.co.jp に送ること。

※個人情報の取り扱いに関して

大会参加に際して提供される個人情報は本大会に利用するものとし、これ以外の目的に利用することはありません。

1 7 参加費 団体各種目 1チームにつき 3,000円 個人各種目 1名につき 500円

1 8 その他 (1) 組手競技出場者は、次の安全具(JKF公認)を装着しなければならない。シンガード・インステップガードは全国高体連指定品でなければならない。

1 メンホーVI・VII 2 拳サポーター(赤・青)

3 ボディープロテクター 4 シンガード・インステップガード

5 セーフティカップ(男子のみ)

※マウスピースを使用しても良い(任意)。ただし、色は白色か透明なものとする。

(2) 出場選手の左胸に規定の大きさの校名マーク、左肩に県名マークを付けなければならない。

(3) 個人名の刺繍を入れる場合は黒色とし、姓(名字)又はフルネームであることが望ましい。

(個人名はなくてもよい) 指定箇所以外の刺繍は禁止する。

- (4) 事故の処置については、応急手当は大会本部で行うが、その後の処置については各校で対応する。(保険証持参)
- (5) 新型コロナウイルスの対応については、原則、各中央競技団体のガイドラインや自治体の指針に従うこととし、その他、教育委員会や高体連事務局からの方針等があった際はそれに従うこととする。
- (6) 計量について
- ・男女個人組手に出場する全ての選手は、計量時間内に計量を受け、参加資格の確認を受けなければならない。
 - ・計量は指定された時間帯であれば、何度でも計量することができる。
 - ・計量服装は、男女ともに上衣はTシャツ(半袖)、下衣はスパッツ(ハーフサイズ)とする。包帯・サポーター等の着用は一切認めない。
 - ・この時間で計量を受けなかったり、あらかじめ届け出た階級の体重区分に適していない選手は棄権となり、個人組手出場の権利を失う。(個人組手には出場できないが、その他の種目には出場できる) 体重区分に適していないというのは、規定体重を超えた場合だけでなく、規定体重に達していない場合も含む。(当日は大会役員が計量を行う。)
 - ・試合に出場を希望する選手は、発育・発達過程にある高校生であることを考慮し、無理な減量をおこなってはいけない。※(公財)全国高体連空手道専門部HP参照

※階級表(全国選抜大会要項に準じる)

- ・階級については表のようになるので間違えないようにすること。ただし、着衣分として、0.5kgと計測器測定幅として±0.5kgを考慮した、当日の測定値幅を下記のように定める。

男子個人組手		女子個人組手	
-55K	56.0K未満	-48kg級	49.0kg未満
-61K	55.0K以上62.0K未満	-53K	48.0K以上54.0K未満
-68K	61.0K以上69.0K未満	-59K	53.0K以上60.0K未満
-76K	68.0K以上77.0K未満	-66K	59.0K以上67.0K未満
+76K	76.0K以上	+66K	66.0K以上